

信行寺しんぶん

〒722-0033 尾道市東土堂町11-36

令和8年10月発行

NO.97

[信行寺のホームページ\(shingyouji.net\)](http://shingyouji.net)があります

(メール) onomichishingyouji@gmail.com

(インスタグラム) onomichi.shingyouji

(LINE) @331sucpn QRコードはこちら →



西暦2026年
佛歴2569年
当寺開創
812年
(1214年開創)

時代に追従する あまり 自己を失うこと を憂うべし

「子どもに迷惑をかけたくない」と言っ
て墓をしまい、先祖の供養まで自分の代
で片づける。それが今では、物分かりのよ
い親の姿なのだそう。

しかし、いつから親や先祖を敬うことが
「迷惑」になったのだろう。育ててもらっ
た恩に報い、親孝行をすることさえ、今の
時代には負担でしかないのだろうか。乳
哺の恩に報いる機会を、ほかならぬ親自
身が「子どものため」と言って取り上げて
しまう。何とも皮肉な話である。子ども
に何も背負わせないことが愛情だという
のなら、何も受け継がせないこともまた、
愛情なのだろうか。

時代に合わせることに熱心なあまり、守
るべきものも、伝えるべき心も、いつの間
にか失っている。墓をしまうことよりも、
報恩の心までしまい込んでしまうことの
方が、よほど憂うべきことではなからう
か。

境内近況

10月になりました。あれだけ
暑かった夏もようやく終わりを
告げ、朝と夕方が肌寒い季節に
なってきました。

若い者の間では「日本は四季で
はなくて二季になってきた」とい
う言葉が出始めるほど暑い時
期が長くなってきてますね。こ
れも地球温暖化の影響でしょ
うか。

季節もそうですが、近年病気の
流行にも変化が始めています
ね。冬に流行する病気といえ
ばインフルエンザですが、今年
はすでに流行の兆候が始めてい
ますね。こちら広島でもちらほ
らと学級閉鎖をする学校が出
始めてきました。これは近年増
えている外国人観光客が日
本に来るインバウンドの影響が
大きいとされています。今年は
予防も早めが良いようです。

くらしに生きる 仏教のことば 其の2

愛別離苦

仏教には「四苦八苦」という言葉があります。人生における「生・老・病・死」の四つの苦しみに、

- ・愛別離苦（あいべつりく）…愛する者と別れる苦しみ
- ・怨憎会苦（おんぞうえく）…恨み憎む者と会わなければならない苦しみ
- ・求不得苦（ぐふとっく）…求めるものが得られない苦しみ
- ・五蘊盛苦（ごうんじょうく）…心や身体が思うようにならない苦しみ

の四つを加えて八苦といいます。

その中の愛別離苦とは、愛する人との別れの苦しみです。それは人生を歩むうえで、誰もが避けて通ることのできない悲しみでもあります。

作家倉田百三は、随筆『人生における離合について』の中で、

「人間が会いたまた離れるということは人生行路における運命である。そしてこれは心に沁みる切実なことである」

という言葉を残しています。出会いがあるからこそ別れがあり、別れがあるからこそ、そのご縁の尊さを知ることができます。別れの悲しみがなくなることはありません。しかし、その悲しみを抱えながらも、お念仏を申して阿弥陀さまにおまかせしていくところに、私たちの歩む道があるのではないのでしょうか。大切な方との別れを通していただいたご縁を胸に、お念仏申す日暮らしを続けてまいりたいものです。

◎墓じまいをお考えなら、こちらに。

本堂内納骨堂「白雲殿」

子どもや家族に、お墓の負担を残したくない。

娘さんが結婚して姓が変わった場合でも、

そのご家族やお孫さんへ継承することができます。

家名や姓にとらわれず、大切な方をお守りしていける納骨堂です。檀家でない方もお申し込みいただけます。

宗派不問・生前のお申し込みも可能です。



発行元：白雲山 極楽寺（ご相談やご連絡はこちらへ） 24時間対応

〒720-0838 福山市瀬戸町山北740

電話：084-951-2178 FAX：084-999-1577

携帯：080-3902-0030 （メール）onomichishingyouji@gmail.com